

学校

生活の中に読書を 読書で心を豊かに



朝の読書タイム。静まりかえった教室には、本をめくる音だけが聞こえる



今日はこの本を読んでもらう。
お気に入りの絵本を借りる園児

読書は、生きる力をはぐくむ基礎となる思考力・判断力・表現力を育てるために欠かせない活動で、知識や技能を活用するための「言語活動」を充実させるための重要な取り組みです。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携して、いろいろな場面で子どもが読書に親しむ環境づくりを一層推進できるように、学校や市図書館が積極的にネットワーク作りを取り組んでいます。



各学校では地域の読み聞かせサークルが活動されています

朝

来市では小・中学校での読書習慣の定着に向けた「朝読書」の推奨や、全校一斉の読書活動や調べ学習などの学習支援の場としての学校図書館の充実など、学校における読書活動の推進に努力しています。

また、地域の人々の支援による「ブック・ママ」、「お話レストラン」、「読みっこタイム」、「ちあふるぼつけ」などと銘打った読み聞かせ活動を各学校で繰り返し行っています。さらに、家庭での読書を推進するために「ノーテレビ・ノーゲームデー」を設けて、家族みんなで読書に取り組んでいる学校もあります。さらに、市図書館から



真剣に読書をする園児。
自分の世界に入っています

市図書館と小・中学校が連携し開催している「ブックトーク」



職員を招き、「ブックトーク」を開催し、本の楽しみ方や選び方を学んでいる学校もあります。

こうした取り組みを着実に進めるためには、子どもの読書活動に最前線で関わっている県と市との連携がとても重要です。このため、